

**第13回連合・ILEC
幸せさがし文化展**

表彰式と展覧会を開催

2年に1度実施している「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第13回を迎えた今回の文化展には、全国から過去最多となる9,594点のご応募をいただきました（絵画の部126点、写真の部1,411点、書道の部334点、俳句の部3,565点、川柳の部4,158点）。

厳正な審査の結果、各部門の入賞者を決定し、10月6日の連合第18回定期大会では連合大賞・ILEC大賞受賞者の表彰式を行いました。

また、10月4～9日には、東京都内の東京芸術劇場ギャラリー1で入賞作品全点を展示した展覧会を開催し、多くの方にご来場いただきました。



▲展覧会の様子



▲審査員の先生方による講評会を初めて開催



▲連合芳野会長から受賞者に表彰盾と目録を授与



▲表彰式には6名の入賞者が出席



▲入賞作品：【絵画】ジュニア大賞



▲入賞作品：【写真】連合大賞



▲入賞作品：【書道】連合大賞

◇連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞入選作品一覧◇

(敬称略)

絵画の部

○連合大賞	「GRAB A STAR」	奥田 崇視	岡山県
○ILEC大賞	「幸せの探求」	馬淵 朋哉	北海道
○シニア特別賞	「隣のプーちゃんとクー」	老子 英夫 (80歳)	東京都
○ジュニア特別賞	「ふゆま 折り紙つくるの大好き」	泉 冬馬 (6歳)	東京都

写真の部

○連合大賞	「上機嫌」	クンちゃん	J R総連 (J R東労組/仙台地本・OB)
○ILEC大賞	「僕らの初花火」	亀田 博之	宮崎県
○シニア特別賞	「こんにちは！！」	村田 利子 (89歳)	山口県
○ジュニア特別賞	「幻想の彼女」	中村 春香 (15歳)	沖縄県

書道の部

○連合大賞	「二声と」	孤舟	基幹労連 (J F E スチール倉敷労働組合)
○ILEC大賞	「故郷」 兔追いしかの山小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて忘れがたきふるさと	大坪 瑛葉	山口県
○シニア特別賞	「念ずれば花ひらく」	光峰 (81歳)	退職者連合 (栃木県退職者会)
○ジュニア特別賞	「太陽」	東原 遥花 (11歳)	香川県

俳句の部

○連合大賞	「熱帯夜大きくドアを閉める音」	浪花小楨	東京都
○ILEC大賞	「うら若き工場長や秋に入る」	竹澤 聡	神奈川県
○シニア特別賞	「海霧深きレーダーみつめ帰港かな」	海啓 (82歳)	海員組合 (愛媛支部・OB)
○ジュニア特別賞	「そよ風で大波つくるラベンダー」	重倉 実穂 (10歳)	北海道

川柳の部

○連合大賞	「火に油戦車を贈る平和主義」	ハイ爺	東京都
○ILEC大賞	「探します自分仕様の青い鳥」	あざみのかかし	神奈川県
○シニア特別賞	「長寿国また学校が一つ消え」	小出 貢凡 (88歳)	栃木県
○ジュニア特別賞	「カラフルな付箋だらけの参考書」	大也 (15歳)	茨城県

～入賞作品は全点ILECホームページでご覧いただけます～



連合大学院「優秀論文」報告を実施

連合大学院（法政大学大学院連帯社会インスティテュート）は、法政大学・連合・教育文化協会が連携し、法政大学大学院に設置されている修士課程プログラムです。労働組合プログラム、協同組合プログラム、NPOプログラムの3コースからなり、各組織のリーダーや専門家を育てるための高度職業専門人財の育成機関として、開講以降今年3月修了の7期生まで71名が卒業しています。

連合第18回定期大会では、労働組合プログラム7期生の卒業生を代表し、特に優秀な論文として大谷直子さん（JAM）に、修了論文「企業別労働組合の指導と支援——JAM地方組織の事例から」の要旨を報告していただきました。



▲論文を報告する大谷さん

第20回「私の提言」募集 ～6編の入賞提言を決定～

教育文化協会は、連合と共催で毎年「私の提言」を募集しており、第20回となる今年は45編の提言が寄せられました。

9月13日に開催した運営委員会（委員長＝教育文化協会相原康伸理事長）で、14名の運営委員による審査を行い、以下の6編の入賞提言を決定しました。

10月6日開催の連合第18回定期大会で表彰式が行われ、入賞者を代表して「第20回記念賞」を受賞した白井桂子さんと田中美貴子さんが出席しました。連合芳野友子会長による表彰盾・副賞授与の後、白井さんより提言に込めた思いが定期大会参加者に伝えられました。白井さん・田中さんは、女性組合役員の活躍推進に向けた取り組みについて、具体的に提起されました。

今後、入賞提言6編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布いたします。あわせて教育文化協会ホームページにも掲載いたしますので、ぜひご覧ください。



▲連合芳野会長より賞状・副賞を授与



▲スピーチを行う白井さん（写真左）
と共同執筆者の田中さん（写真右）

<入賞提言>

賞	氏 名	所 属	提言タイトル
第20回 記念賞	白井 桂子	連合群馬 副事務局長	クミジョは大志をいだいてる KUMIJO has AMBITIOUS ～クミジョが活躍できる制度と課題～
	田中美貴子	自治労 群馬県本部 書記次長	
佳作賞	平野 亮	連合東京 総務企画局次長	労働が変化する中、労災保険制度がセーフティーネットとして機能していくためには
奨励賞	石川 要一	U Aゼンセン ミズノユニオン 中央執行委員長	労働組合による人権への取り組みと G F A締結の推進
	吉田 圭佑	情報労連 N T T労働組合 データグループ本部 組合員	能力主義社会における労働組合のあり方を考える
	川尻 史朗	連合岐阜 専従局員 (常任役員)	「連合には期待しかない」 ～労働組合の進化のための提言～
学生特別賞	吉岡佐知子	埼玉大学 経済学部3年	女性活躍に向けて労働組合がすべきこと ～マルイグループユニオンの 取り組みを踏まえて考える～

※第20回に限り、通常回は「優秀賞」としている名称を「第20回記念賞」とした

※所属・役職は応募時点

連合寄付講座の後期講義がスタート！ ～全国各地で開催中～

埼玉大学、法政大学、東京工業大学大学院で2023年度後期の「連合寄付講座」が順次スタートしました。埼玉大学は今年で17年目、法政大学は11年目、東京工業大学大学院は5年目の開講となります（プログラムは下記・次頁参照）。

また地方連合会主催の連合寄付講座では、新たに開講した鹿児島大学をはじめとした11大学で後期講座が開講しました。それぞれ、各地域の労働事情を踏まえた特色あるプログラムが生まれ、地方連合会の役員を中心とした労働運動の第一線で活躍する講師陣が講義を行っています。

連合寄付講座は連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できない事業です。今後も引き続きのご支援をお願いいたします。

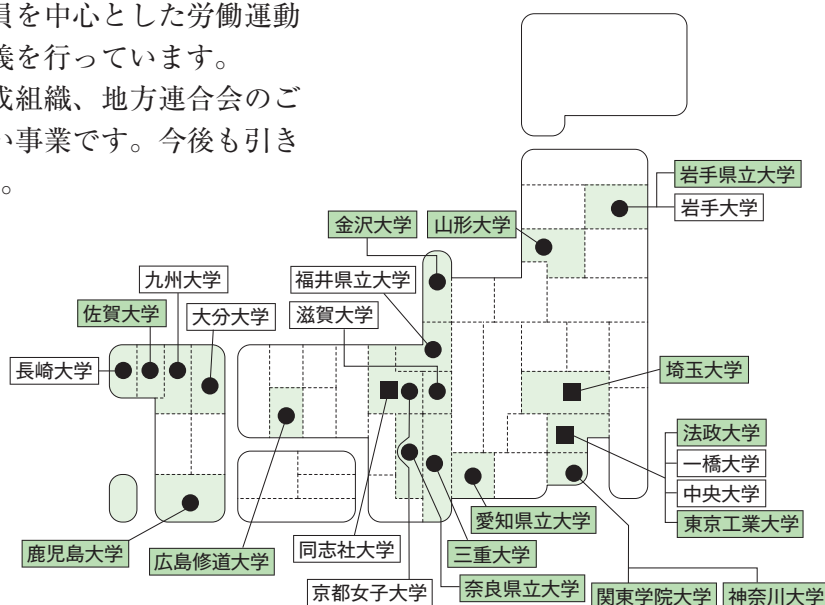


▲広島修道大学寄付講座(2023.9.28)の様子

※網掛けは後期開講中

※■は教育文化協会主催の連合寄付講座

※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講



2023年度東京工業大学大学院 連合寄附講義プログラム

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/4	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学准教授
2	10/11	労働組合の歴史と基礎	逢見 直人 連合顧問
3	10/18	今、働く現場で何が起きているのか —労働相談から見た雇用の現状—	久保 啓子 連合総務・人財局長
4	10/25	連合の雇用労働法制に関する取り組み	山脇 義光 連合労働法制局長
5	11/1	職場の声を集める（職場の課題改善に向けた取り組み）	松尾 剛志 富士通労働組合中央執行委員長
6	11/8	仕事と生活の両立に向けた取り組み —育児と仕事の両立に向けて—	齋藤 久子 情報労連政策局部長
7	11/15	教員による論点整理	西田 亮介 東京工業大学准教授

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/6	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学准教授
2	12/13	ワークルールを知る	山本 和代 労委労協事務局長
3	12/20	労働組合と政治・政策	内藤 靖博 連合副事務局長
4	1/10	働き方と賃金（企業における賃金決定のプロセス）	伊藤 彰英 基幹労連企画調査部部長
5	1/17	ジェンダー平等と労働組合	井上久美枝 連合副事務局長
6	1/24	仕事と生活の両立に向けた取り組み —長時間労働の是正に向けた取り組み—	筒井 友暁 日本触媒労働組合中央執行委員長
7	1/31	修了講義（東工大の学生に期待することなど）	相原 康伸 教育文化協会理事長

※講義時間は、水曜日15：25～17：05

2023年度法政大学 秋学期『連合寄付講座：働くということと労働組合』プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/26	【オリエンテーション】労働組合とは何か	武石恵美子 法政大学教授
2	10/3	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】 「働くこと」について考える ～労働組合の役割と意義～	相原 康伸 教育文化協会理事長
3	10/10	【課題提起②】 いま働く現場で何が起きているのか ～職場における課題と労働組合の役割～	内藤 靖博 連合副事務局長
4	10/17	【ケーススタディ①】労働時間の短縮に向けた取り組み	松田 惣佑 生保労連中央副書記長
5	10/24	【ケーススタディ②】 非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	立花 正貴 伊藤ハム労働組合中央執行委員長
6	10/31	【ケーススタディ③】 公務労働の現状と公共サービスの役割	榎本 朋子 自治労書記次長
7	11/7	【ケーススタディ④】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	浅香 朋子 JP労組 中央執行委員 労働政策局 関連子会社担当部長
8	11/14	【ケーススタディ⑤】 デジタル化の進展に伴う課題と労働組合の役割	春川 徹 K D D I 労働組合中央執行委員長
9	11/21	【ケーススタディ⑥】 雇用と生活を守る取り組み	川野 英樹 J A M副書記長+若手職員
10	11/28	【課題への対応①】 労働者保護ルールの堅持・強化に向けた取り組み	連合役職員
11	12/5	【課題への対応②】 国際労働運動の役割 ～グローバルゼーションへの対応～	郷野 晶子 I T U C会長/I L O理事
12	12/12	【課題への対応③】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	新沼かつら 連合労働条件・中小地域対策局局长
13	12/19	【修了講義】 連合運動の現在と未来 ～これから社会へ出る皆さんへ～	清水 秀行 連合事務局長 【コーディネーター】法政大学 教員
14	1/9	【論点整理】 「働くということ」と労働組合	法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15：00～16：40

2023年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/6	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大学生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る — 労働組合が果たすべき役割とは	相原 康伸 教育文化協会理事長
2		労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	連合本部 総合運動推進局
3	12/13	労働組合をつくる	谷 行介 ゲオグループ労働組合執行委員長
4		労働組合の役割と組合役員の活動	津崎 暁洋 キョコマン労働組合中央執行委員長
5	12/20	組合員の処遇改善の取り組み ～春季生活闘争の取り組み～	講師調整中
6		非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる — 新型コロナウイルス感染拡大の影響と労働組合の取り組み—	講師調整中
7		仕事と生活の両立に向けた取り組み	講師調整中
8	1/10	労働組合の政策活動① 働く仲間を守る —航空連合の盗撮対策の取り組み—	内藤 晃 航空連合会長
9	1/17	労働組合の政策活動② 福祉の職場における政策実現活動	門崎 正樹 自治労社会福祉局長 (中央執行委員)
10		地域で雇用と生活を守る	連合埼玉
11	1/24	国際労働運動の課題と対応	郷野 晶子 I L O理事/I T U C会長
12		労働者保護ルールの維持・強化に向けた取り組み	連合本部 総合政策推進局
13		連合の賃金に関する取り組み	連合本部 総合政策推進局
14	1/31	【修了講義】 連合運動の現在と未来 —これから社会に出る皆さんへ—	村上 陽子 連合副事務局長
15	2/7	教員によるまとめ	金井 郁 埼玉大学教授

※講義時間は、水曜日15：00～16：20・16：30～17：50

Rengoアカデミー・第22回マスターコース

～18名が1年におよぶプログラムを修了～

「Rengoアカデミー・第22回マスターコース」の修了論文報告会と修了式を、9月29日（金）に連合会館で開催し、18名が2022年11月の開講から約1年にわたるプログラムを修了しました。

修了論文報告会では、修了論文の要旨を発表し、最後にゼミ担当講師からコメントをいただきました。続く修了式では、相原理事長による主催者挨拶の後、連合清水秀行事務局長よりご挨拶をいただき、修了生に修了証が手渡されました。その後、中村圭介教務委員長からの講評を受け、最後に、修了生を代表して浜村ゼミの安川尊明さんから謝辞が述べられました。修了式後に開催した懇談会では、修了生の決意表明に加え、ゼミナールの先生方や修了生の出身組織代表者からも激励のメッセージをいただきました。

修了生の皆様の今後のご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝いたします。



▲修了式の様子

<Rengoアカデミー・第22回マスターコース修了生・修了論文一覧>

(敬称略)

ゼミ	所属・氏名	論文テーマ
禹	J P 労組 浅香 朋子	J P 労組における女性活躍と組織活性化 —「女性フォーラム」に焦点を合わせて—
	情報労連 佐藤 誠	中堅社員に魅力ある人事制度の構築 ～ 組合視点からの提案 ～
	連合本部 鈴木 敦夫	労働組合役員のなり手不足解消に向けて ～非専従執行委員の組合活動時間から見えること～
	U A ゼンセン 森 真人	組合の日常活動から新たな労働運動の手がかりを探る — 現場オルグに焦点を合わせて—
梅崎	日教組 近藤有理子	学校の長時間労働は正にどうむきあうか — 現場実態と原因の提示、そして組織拡大にむけて—
	電機連合 鈴口ますみ	労働組合の組織文化の本質とは ～ 組合員の組織社会化の過程から「活動参画の向上」を考える～
木本	自動車総連 石川 良次	労働組合活性化に必要な役員・委員の意識向上 コロナ禍がもたらした意識変化とそこから見える活性化へのヒント
	基幹労連 渋谷 厚子	次の担い手を獲得するために何をすべきか — 労働組合の課題と活動の魅力を考える—
	電力総連 津山 誉輝	電力総連における女性役員選出の現状と課題 — 男性役員の家族参画が現状打破のカギとなる—
	連合東京 永島 理絵	貧困の連鎖に立ち向かう — 地域協議会だからこそできる社会的支援とは—
橋元	連合三重 伊藤 康博	地域における賃金の相場形成をめざして — すべての働く者の賃金を底上げしよう—
	労済労連 椎木 香菜	非正規雇用組合員の労働組合活動参画の活性化に向けて
	自動車総連 高橋 秀幸	男性の育児参画の活性化 ～ 仕事と育児の両立に向けて～
	電機連合 太刀川晋史	常用型派遣企業の労働組合の在り方について — 常用型派遣企業の労働組合がおこなう教育訓練—
浜村	情報労連 永渕 達也	賃金は争議行為によって上がるのか — 重回帰分析による争議行為と賃上げ率の規定因の分析—
	自治労 橋本 勇介	地方自治体における会計年度任用職員制度の導入と課題
	日本労信協 安川 尊明	労働金庫の存在意義と労働組合の役割 — 理念実現に向けて協同組織金融機関として労働金庫に求められること—
	連合奈良 山根 惇	労働組合の共感に向けて ～ 労働組合を身近に。連合寄付講座からはじまる労働組合～

各受講生の修了論文の内容につきましては、修了論文集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページに論文概要を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

第23回Rengoアカデミー・マスターコースのご案内

Rengoアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、年間をとおして、前期6日間、後期6日間の集中講義を基本に、必修ゼミもおこないながら、担当講師の指導のもと、修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。

第23回は11月12日（日）より開講いたします。今年も各組織のご支援をいただき運営してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2023年9月20日に联合会館において第11回定時総会を開催しました。定時総会では、2022年度（2022年7月1日～2023年6月30日）決算、役員報酬総額、役員の選任の3議案について提案し、いずれも提案通り承認されました。また、これに先立ち開催した同年6月20日の第46回理事会では、2023年度（2023年7月1日～2024年6月30日）事業計画・予算、特別寄附金の受領等を、同年8月29日に書面決議にて開催した第47回理事会では、2022年度事業報告等を提案し、いずれも提案通り承認されました。

2023年度も引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めてまいります。

※2022年度事業報告・決算報告および2023年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（34名）

2023年9月20日時点

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
理 事 長	相原 康伸	教育文化協会 理事長	理 事	木村 敬一	私鉄総連 委員長
副理事長	清水 秀行	教育文化協会 副理事長／ 連合 事務局長	理 事	伊藤 敏行	フード連合 会長
専務理事	永井 浩	教育文化協会 専務理事	理 事	立川 博行	海員組合 政策局長
常務理事	内藤 靖博	教育文化協会 常務理事／ 連合 副事務局長	理 事	園田 龍一	交通労連 前委員長
常務理事	遠藤和佳子	教育文化協会 常務理事	理 事	芦川 和人	労金協会 常務理事
理 事	畑 慎一	U Aゼンセン 副会長	理 事	濱田 毅司	こくみん共済coop 常務理事
理 事	並木 泰宗	自動車総連 事務局長	理 事	新谷 信幸	連合総研 専務理事
理 事	榎本 朋子	自治労 書記次長	理 事	元林 稔博	国際労働財団 常務理事
理 事	中澤 清孝	電機連合 書記長	理 事	南部美智代	中央労福協 事務局長
理 事	椎木 盛夫	J A M 副書記長	理 事	梅原 貴司	総評会館 専務理事
理 事	網島 和彦	基幹労連 副委員長	理 事	宮本 礼一	日本労働会館 代表理事
理 事	石川 幸徳	J P 労組 委員長	理 事	中村 圭介	東京大学 名誉教授
理 事	山木 正博	日教組 書記長	理 事	伊丹謙太郎	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	坂田 幸治	電力総連 前会長	理 事	今野浩一郎	学習院大学 名誉教授
理 事	水野 和人	情報労連 書記長	理 事	禹 宗杭	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	成田 幸隆	運輸労連 委員長	理 事	禿 あや美	跡見学園女子大学 教授
理 事	堀谷 俊志	J E C 連合 会長	理 事	藤田 親継	生協総研 専務理事

監事（3名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
監 事	湯本 健一	連合 総合総務財政局長	監 事	砂金 良昭	日本労信協 代表理事
監 事	勝田 年彦	生保労連 委員長			

顧問（6名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
顧 問	西村 寿紀	元 専務理事	顧 問	古賀 伸明	元 Rengoアカデミー校長
顧 問	高木 剛	元 Rengoアカデミー校長	顧 問	神津里季生	前 Rengoアカデミー校長
顧 問	岡部 謙治	元 理事長	顧 問	南雲 弘行	前 理事長

第11回定時総会にて次の役員が退任しました。

理 事 北野 真一 理 事 細野 誠一 理 事 難波 淳介
理 事 廣瀬真理子 理 事 酒向 清 常務理事 村杉 直美
在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

就任のご挨拶

村杉前常務理事の後任として選任いただきました。新卒で入社したいいわゆるブラック企業を経て、縁あって連合本部に入局し、働くことにかかわる権利や労働組合の力を新卒の自分が知っていたら…と思いながらジェンダー平等・多様性推進や広報・教育をはじめ様々な業務に取り組んできました。引き続き自分の原点を忘れずに、役目を果たしていきたいと思います。どうぞご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

常務理事 遠藤和佳子

退任のご挨拶

ILECでの16年間、たくさんの皆様にご協力いただき、大変お世話になりました。労働教育と文化という労働運動の屋台骨を支える重要な仕事に関わる中で、私自身多くのことを学ばせていただきました。これからもILECが益々発展されることを心より期待しております。

最後に次の言葉を送ります。

みがかずば玉も鏡も何かせむ 学びの道もかくこそありけれ

私も学び続けます。ともに頑張りましょう！
前常務理事 村杉 直美

着任のご挨拶

○このたび、10月10日付で連合本部より教育文化協会への出向を命ぜられ、過日着任いたしました。教育文化協会の事業に携わるのは2014年10月から2017年9月の3年間以来、今回で2度目となりますが、改めて新たな環境のもと、微力ながら努力精進して参る所存でございますので、今後とも関係するみなさま方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

(陳浩展チーフディレクター…連合本部から出向)

○連合入局前は編集者でした。紙・誌面づくりでは経験を生かします。客観的な視点や柔軟な発想、スピード感を常に意識し、時代から取り残されることは避けたいものです。ジェンダー平等、多様性に満ちた「働くことを軸とする安心社会」の実現、より学び・文化活動の機会の提供へ、お役に立てるよう取り組みます。よろしくお願い致します。

(松井裕一ディレクター…連合本部から出向)

◆連帯社会研究交流センター「連帯社会」連続講座のご案内◆

連合大学院を運営する「連帯社会研究交流センター」では、連帯社会に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を実施しています。

オンライン（Zoom）開催のため全国どこからでもご参加可能です。皆さまのご参加をお待ちしています。

お申込みはこちらから →
<http://recss.jp/event.html>



2023年 12月2日(土)	物流の『2024 年問題』から考える 労働組合の役割 講師：首藤若菜（立教大学経済学部教授）	2月17日(土)	建築に見る“個”と“連帯”： イギリスでの経験から 講師：穎原澄子（千葉大学工学部准教授）
2024年 1月20日(土)	貧困の現状と課題 —「子どもの貧困」「女性と貧困」の視点から 講師：藤原千沙 （法政大学大原社会問題研究所教授）	3月16日(土)	アレクサンダー社会学の 市民社会の思考について 講師：兼子論（法政大学社会学部兼任講師）

※時間はいずれも 15：00～16：40

編集後記

今年もRengoアカデミーマスターコースが始まります。6年前に受講生として参加し、昨年から運営側として受講生たちを見ているが、改めて同期生っていいな、と感じます。これを読んでいる17回生の方がいたらぜひご連絡をお待ちしています。

（まち子）